



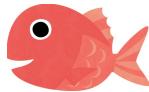
Yamaka Topics ヤマカトピックス



北海道イクラ卸値が2倍

北海道秋サケ漁が市場最悪（前年の漁獲量の70%減）の状態の中、市場には新物のイクラが出てきました。卸値キロ2万8000円で初物は取引されたそうです。ちなみに塩イクラはキロ3万円前後だったとか。文字通り、これまでに経験したことない高値で市場関係者のイクラ離れを警戒しています。イクラ加工業者によると「漁獲量が7割減でもイクラの生産量はさらに減り8割減。異常な高値だが市場に供給する責任を果たす。」とコメントしています。

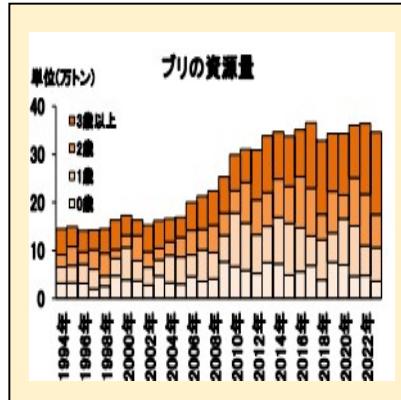
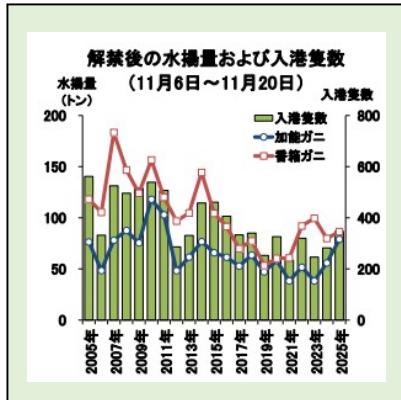
入荷状況



12月のさかな

- ズワイガニ
- コウバコガニ
- ブリ ◎
- タラ ◎
- 甘エビ ◎
- ナマコ ◎
- フグ(ムキフグ)
- カキ
- ヤリイカ
- アンコウ

天然寒ブリ界の最難関。



能登漁港状況

能登半島地震から2年あまり。県内81ある漁港のうち、71港が被災しました。現在は復旧作業も進み68港が利用可能となっています。設備も徐々に整備され前年を上回る漁獲となっています。とは言え、県内有数の水揚げ拠点、輪島港でも震災前の4割程度の回復。徐々に復興に向けて進んでいます。

今年のズワイガニ、寒ブリ漁況

ズワイガニ、コウバコガニの資源量は潤沢ということで本年度の漁に期待するところですが、今のところズワイガニで昨年の141%、過去5年平均の160%と高水準です。またコウバコガニも昨年平均、過去5年の平均を越えています。

ブリの資源は1994年以降増加傾向であり、高水準を維持しています。ブリは暖水性の魚であり、北海道沿岸域から南下するタイミングで新潟県から能登半島沿岸域の水温が高いと沿岸寄りに回遊するそうです。今年は昨年よりも低めだったそうです。12月からは「天然能登寒ブリ」も本格的に。最高級の「煌きらめき」に幾らの競り値がつくか！

●商品価格等は各担当者にお問い合わせ下さい。